

いわて地域おこし協力隊「三陸地域交流連携サポーター」募集要項

■地域の紹介

岩手県は本州の北東部に位置し、東西約 122 km、南北 189 kmの南北に長い形をしています。広さは 15,275 km²で、北海道に次ぐ広大な面積を有し、緑豊かな奥羽山脈や北上高地、東北地方最大であり、全国4番目の規模を誇る北上川、風光明媚な三陸の海など豊かな自然に恵まれています。

活動の拠点となる宮古市は、人口は約 48,000 人で、岩手県の県庁所在地である盛岡市の東側にあり、本州最東端に位置し、県内で最も広い面積を誇ります。内陸部は緑豊かで広大な山々に囲まれ、沿岸部はリアス海岸を有し太平洋に面する恵まれた自然環境にあります。

なかでも岩手県を代表する景勝地である浄土ヶ浜は、美しい景色を堪能できる他、近隣で様々なアクティビティを楽しむこともでき、毎年多くの人が訪れる観光地となっています。

また、夏は「やませ」の影響で比較的涼しく、冬は比較的降雪量が少ないため、過ごしやすい環境です。

(参考) 宮古市移住定住情報ポータルサイト 「住めば宮古」 <https://sumebamiyako.net/>



浄土ヶ浜 青の洞窟（宮古市）



蓬莱島（大槌町）



奇跡の一本松（陸前高田市）

■募集の背景

岩手県の三陸沿岸地域の海岸線は、日本内でほとんど類例のない変化に富んだ美しい海蝕景観によって構成されており、三陸復興国立公園（青森県、宮城県の一部を含む）にも指定されています。これらの景観は、地球の活動によって形成された様々な自然の造形であり、「三陸ジオパーク」として認定されています。

また、東日本大震災津波からの復興プロジェクトの一つである「みちのく潮風トレイル」は、青森県八戸市から福島県相馬市までを結ぶ全長 1,000 kmを超えるナショナルトレイルとして令和元年6月9日に全線開通し、昨年2月には、イギリス・タイムズ紙が発表した「日本の訪れるべき 14 選」に選ばれるなど、海外有名メディアにも取り上げられ、国内外からの注目が高まっています。

こうした機運をとらえ、NHK 朝の連続テレビ小説「あまちゃん」に登場する鉄道のモデルになった日本最長 163 kmを誇る第3セクター三陸鉄道（愛称：三鉄）や、海の幸をはじめとした地域の資源を発掘・活用し、旅行者の目線に立って必要とされるサービスなどを提供できるよう関係団体と連携しながら、国内外から三陸沿岸地域に人や投資を呼び込む取組を進めていく人材を募集しています。

1 協力隊の業務について

(1) 業務内容

三陸DMOセンターとともに、各地域のDMOや観光協会、地域おこし協力隊と連携しながら、三陸地域の価値を最大化し、同地域の活性化につなげるため、以下の業務を委託する予定です。

- ①三陸沿岸の地域資源の情報の収集
- ②みちのく潮風トレイルの誘客と周遊の拡大に向けた取組の推進
- ③三陸鉄道をはじめとした地域資源を活用した誘客と周遊の拡大に向けた取組の推進

○ DMOとは

観光地域づくり法人のことで、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人で、**三陸 DMO センター**を運営する（公財）さんりく基金は、令和3年3月31日に観光庁による認定を受け「登録観光地域づくり法人（地域連携DMO）」として登録しています。

(2) 業務委託の例

業務内容と時期により委託する業務は日々異なるため、あくまで一例となります。

○情報発信素材の収集

07:00 魚市場到着
07:10～ 動画撮影準備、動画撮影など
08:00～ 撮影終了、撤収など
(フリータイム)
13:30～ 三陸DMOセンターでの打合せなど

(3) 発展的な業務

基本業務を進めていくと、宿泊施設、交通機関、飲食・物産等の地域事業者や地域住民、自治体関係者、旅行会社など多くの方々との関係性が構築されていきます。この関係性を活かし、各地域が持つ地域資源を三陸地域全体で有機的に結び付け、多くの観光客や携わるの方々を受け入れ、稼げる地域にすることを期待しています。

(4) 3年間の活動イメージ

○地元の人が気づいていない地域資源を探し、情報を発信する1年目

三陸DMOセンターの観光プロデューサーやメンバーと共に地域に入り、情報収集をしていく中で地域の特性や風習を理解し、事業者や地域の方々との関係性を構築するとともに、地元の人が気づいていない地域資源を探し、情報発信します。

○みちのく潮風トレイルの誘客と周遊の拡大に向けた取組を推進する2年目

1年目に構築した関係性や地域資源に関する知識を活かし、三陸鉄道などの地域資源を活用し、みちのく潮風トレイルの誘客と周遊の拡大に向けた活動をすることを目指します。

○岩手県の三陸沿岸地域全体をコーディネートし、誘客や周遊につなげる3年目

2年目に引き続き、市町村の地域を超えた地域資源の活用で稼げる地域にするための総合的なコーディネートスキルを習得することを目指します。

○任期終了後について

市町村の区域を越えて地域資源を有機的に結び付け、誘客につなげるには関係機関との合意形成が鍵となるため、地域からの信頼や協力が得ることができれば、任期後も三陸地域の振興に携わる道が開けてきます。そのためにも、地域おこし協力隊としての3年間は、地域での業務経験豊富な観光プロデューサーからの助言を受けながら積極的に地域に入り、地域の方々との関わりを作っていきます。

また、任期終了後は、地域のDMOや観光協会、旅行業関係への道が考えられ、そこで必要なスキル（関係機関との繋がり、三陸地域の魅力発信スキル等）を、日々の業務を通して身につけることができます。

(5) その他の業務について

日報や月報、報告書等の作成業務があります。また、スキルアップに必要な研修の受講など、協力隊として必要な業務を行います。

(6) 活動のフォロー体制について

岩手県では、一般社団法人いわて地域おこし協力隊ネットワークと連携し、初任者隊員向けの研修や、任期終了後に向けた研修等を実施しています。

地域おこし協力隊としての心構えや、活動に関すること、任期終了後の進路等について学ぶことができる他、県内で活動する他の協力隊員とも交流することができます。

また、任期終了後も県内で活動する協力隊OB・OGに、活動内容や任期終了後に関する相談等を行うことができる窓口もあります。



2 求める人材について

(1) 求められるスキル・経験

- ①地域の特性や風習を理解し尊重できること
- ②円滑なコミュニケーションがとれること
- ③普通自動車運転免許（AT限定可）を有していること
- ④パソコン（Excel・Word・PowerPoint・Mail・SNSによる情報発信など）の基本的な操作を行うことができること

(2) 歓迎するスキル・経験

- ①外国人とのコミュニケーションに苦手意識がないこと
- ②ホームページやSNS等を活用した情報発信の実務経験があること
- ③マーケティング分析経験があること（業界・分野不当）
- ④イベントの企画経験があること

(3) 求めている人材について

- ①岩手県、三陸地域が好きな方
- ②地域の方々と関わるのが好きな方
- ③震災復興やみちのく潮風トレイル、防災学習に興味関心がある方
- ④観光関係の企業や団体で働いた経験がある方又は観光業に携わることを検討している方

3 住環境や交通手段について

(1) 住環境について

- ①アパート賃料の目安は、月額 5.5～7.0 万円
※ J R・三陸鉄道「宮古駅」から徒歩 30 分圏内、築 10 年、1DK～1LDK
- ②買物先として、コンビニエンスストア、ドラッグストア、スーパーマーケット、ホームセンター、家電量販店などがあります。
- ③三陸DMOセンター事務所近隣には、季節の新鮮な地域の魚介類や野菜を扱う魚菜市場やご当地パンの有名店などがあります。
- ④医療機関は、救急医療に対応する総合病院の岩手県立宮古病院があります。

(2) 交通手段について

- ①公共交通機関を利用
東京～宮古 約 3 時間 50 分
東京～盛岡 J R 東北新幹線はやぶさ 約 2 時間 10 分
盛岡～宮古 岩手県北バス（106 特急バス） 約 1 時間 40 分
※ 打合せ場所となる三陸DMOセンターは宮古駅から徒歩約 10 分
- ②車を利用
盛岡駅から車で約 1 時間 25 分

4 応募要件等について

(1) 募集人数

1 名（いわて地域おこし協力隊 三陸地域交流連携サポーター）

(2) 着任予定日

令和 7 年度中を想定（時期については応相談）

(3) 雇用関係について

岩手県は「いわて地域おこし協力隊」として委嘱します。

岩手県及び（公財）さんりく基金との雇用関係はありません。個人事業主として、（公財）さんりく基金からの業務委託を受け、活動いただきます。

(4) 応募資格

次の①～⑤の要件をすべて満たす方。

①次のいずれかに該当する方

- ア 現在、三大都市圏又は地方都市等（過疎、山村、離島、半島などの地域に該当しない市町村）に居住し、着任後に住民票を宮古市に異動し居住できる方
- イ 宮古市以外の市町村において、地域おこし協力隊員として同一地域で 2 年以上活動し、かつ解職後 1 年以内の方で、協力隊員として採用された後に宮古市に生活の拠点を移し、住民票を異動することが可能である方

※ 地域要件は、国の地域おこし協力隊推進要綱における「地域おこし協力隊及び地域プロジェクトマネージャーの特別交付税措置に係る地域要件確認表」によるものとします。詳細は総務省の HP で確認していただくか、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

https://www.soumu.go.jp/main_content/000862229.pdf

- ②心身が健康で、かつ、地域協力活動に意欲と情熱を持っている方
- ③普通自動車運転免許を取得している方（A T 限定可）
- ④パソコンを日常的に使用しており、一般的な操作（Excel・Word・PowerPoint・Mail・SNS による情報発信など）を行っての業務が可能なる方
- ⑤地方公務員法第 16 条に規定する一般職員の欠格事項に該当しない方

(5) **三陸DMOセンター所在地**

「公益財団法人さんりく基金事務局」（岩手県宮古市五月町1-20 県宮古地区合同庁舎2階）

※活動範囲は、主に三陸地域（洋野町～陸前高田市）になります。

(6) **報酬額**

報酬日額：13,300円（年額の目安：月20日／年240日稼働の場合、319万円程度）

別途、委託された業務を遂行するために必要な経費（交通費、通信費等）については、あらかじめ協議により認めた内容について、精算により年間200万円を上限に支給します。

(7) **兼業**

地域おこし協力隊の活動の妨げにならない範囲で認められます。

※事前にお問い合わせください。

5 応募手続きについて

(1) **提出書類**

- ・いわて地域おこし協力隊 応募用紙（パソコンでの作成可）
- ・住民票の写し（地域要件の確認に使用します。）

※ 応募用紙は、岩手県のホームページに掲載しています。

(2) **募集期間**

随時

(3) **選考の手続き**

ア 1次選考：書類選考

応募書類による書類選考を実施します。

結果は、応募書類が到着してから1週間程度で御連絡します。

イ 2次選考：オンライン面接

書類選考合格者を対象にオンラインで面接を実施します。オンライン面接の結果は、面接の日から1週間程度で御連絡します。

ウ 3次選考：面接

オンライン面接合格者を対象として、最終面接を盛岡市内で実施します。（面接会場までの交通費は自己負担になります。）

面接の結果は、面接の日から1週間程度で連絡します。

(4) **書類の提出先・問い合わせ先**

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

岩手県ふるさと振興部地域振興室 いわて地域おこし協力隊担当 宛て

電話：019-629-5184

Mail：AB0007@pref.iwate.jp

※ 応募書類は書留郵便又はレターパックプラスで郵送して下さい。

(5) **活動内容についての問い合わせ先**

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1（岩手県ふるさと振興部県北・沿岸振興室内）

公益財団法人さんりく基金 いわて地域おこし協力隊担当 宛て

電話：019-629-6222

Mail：info@sanriku-fund.jp

<参考URL>

■公益財団法人さんりく基金ホームページ

<https://sanriku-fund.jp/>

■三陸観光ポータルサイト「さんりく旅するべ ～いわて三陸観光ガイド～」

<https://sanriku-travel.jp/>